

2025年3月期（2024年度） 決算説明会

2025年5月13日

東証プライム 4559

ゼリア新薬工業株式会社
代表取締役社長 伊部 充弘

I. 2025年3月期（2024年度）連結業績

I-1 決算概要

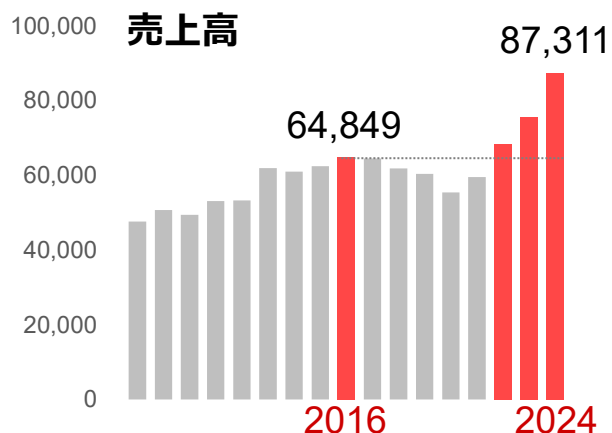
I-2 医療用医薬品事業

I-3 コンシューマーヘルスケア事業

I-4 海外売上高

3期連続で過去最高業績を更新

(百万円)

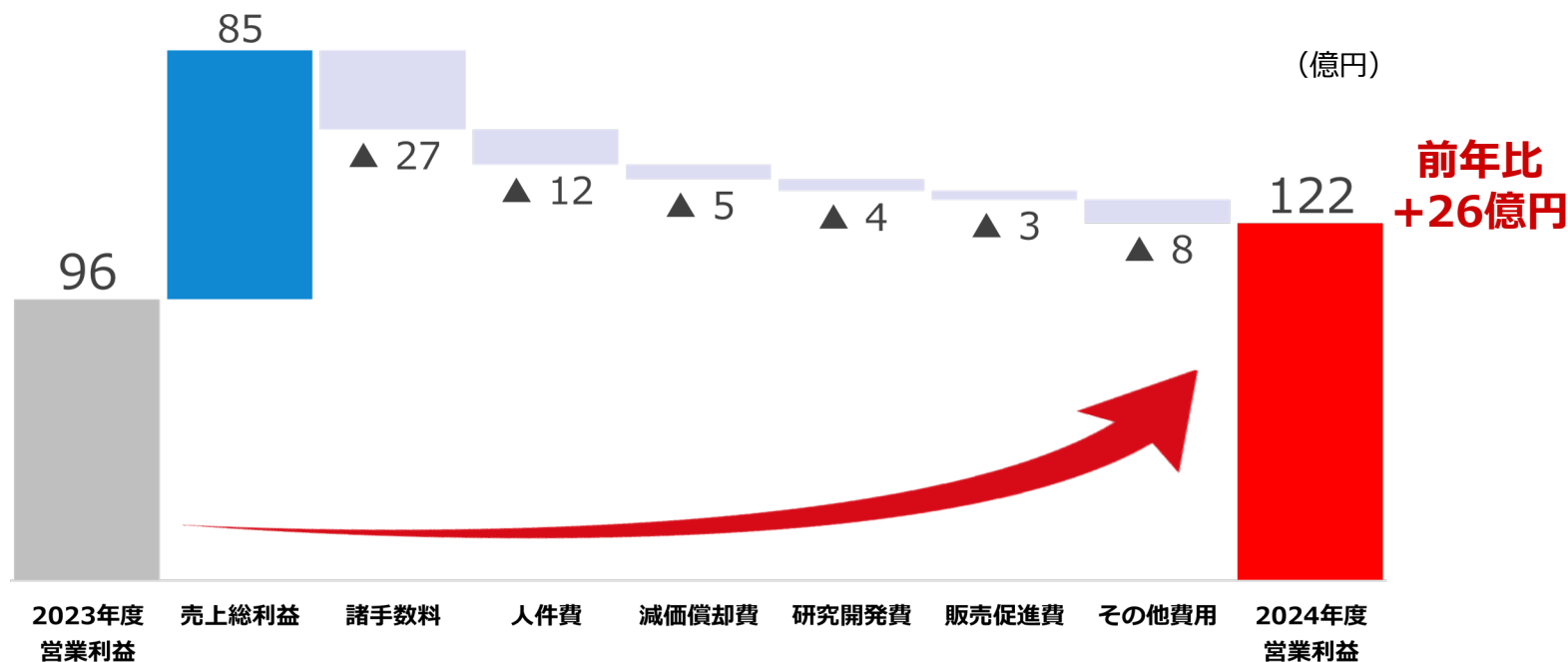


海外医療用医薬品事業が売上・利益を牽引

(百万円)

	2024年3月期		2025年3月期		
	実績	売上比	実績	売上比	対前年伸率
売上高	75,725	100.0%	87,311	100.0%	15.3%
売上総利益	55,501	73.3%	63,959	73.3%	15.2%
販売管理費	45,879	60.6%	51,762	59.3%	12.8%
営業利益	9,621	12.7%	12,197	14.0%	26.8%
経常利益	8,513	11.2%	12,840	14.7%	50.8%
親会社株主に帰属 する当期純利益	7,731	10.2%	9,936	11.4%	28.5%
一株当り配当	44円		47円(予定)		

I-1 決算概要③：営業利益変動要因



- 諸手数料 ディフィクリア売上増に伴うロイヤリティおよびマイルストーン費用の増加
- 人件費 賃上げ、海外子会社営業人員増
- 減価償却費 主に為替影響による費用増
- 販売促進費 海外医療用医薬品事業 プロモーション活動強化
- その他費用 主に為替影響による費用増

ディフィクリアが増収に大きく貢献

(百万円)

	2024年3月期	2025年3月期	
	実績	実績	対前年伸率
医療用医薬品事業	49,571	58,970	19.0%
アサコール	20,918	23,565	12.7%
ディフィクリア	13,508	20,764	53.7%
エントコート	5,416	5,372	-0.8%
アコファイド	3,067	3,040	-0.9%
その他	6,661	6,228	-6.5%

対前年増減要因

	前年対比 (百万円)	増減要因	
		国内	海外
アサコール	2,647	(-)数量微増も、薬価改定の影響	(+)北欧などで好調に推移
ディフィクリア (ダフクリア)	7,255	(+)市場浸透により伸長	(+)フランス、ドイツ、イギリス、 スペインなどで伸長
エントコート (ゼンタコート)	-43	(-)数量減に加え、薬価改定の影響	(-)欧州域の一部の国で後発品の影響
アコファイド	-27	(-)数量増も、薬価改定の影響	
その他	-432	(-)長期収載品の薬価改定および 選定療養制度の影響	

ヘパリーゼ群、ウィズワン群が増収に大きく貢献

(百万円)

	2024年3月期	2025年3月期	
	実績	実績	対前年伸率
コンシューマーヘルスケア事業	25,998	28,179	8.4%
ヘパリーゼ群	10,968	12,552	14.4%
医薬品	5,839	6,430	10.1%
清涼飲料水 栄養補助食品	5,128	6,122	19.4%
コンドロイチン群	5,752	5,572	-3.1%
ウィズワン群	1,292	1,530	18.4%
その他	7,985	8,523	6.7%

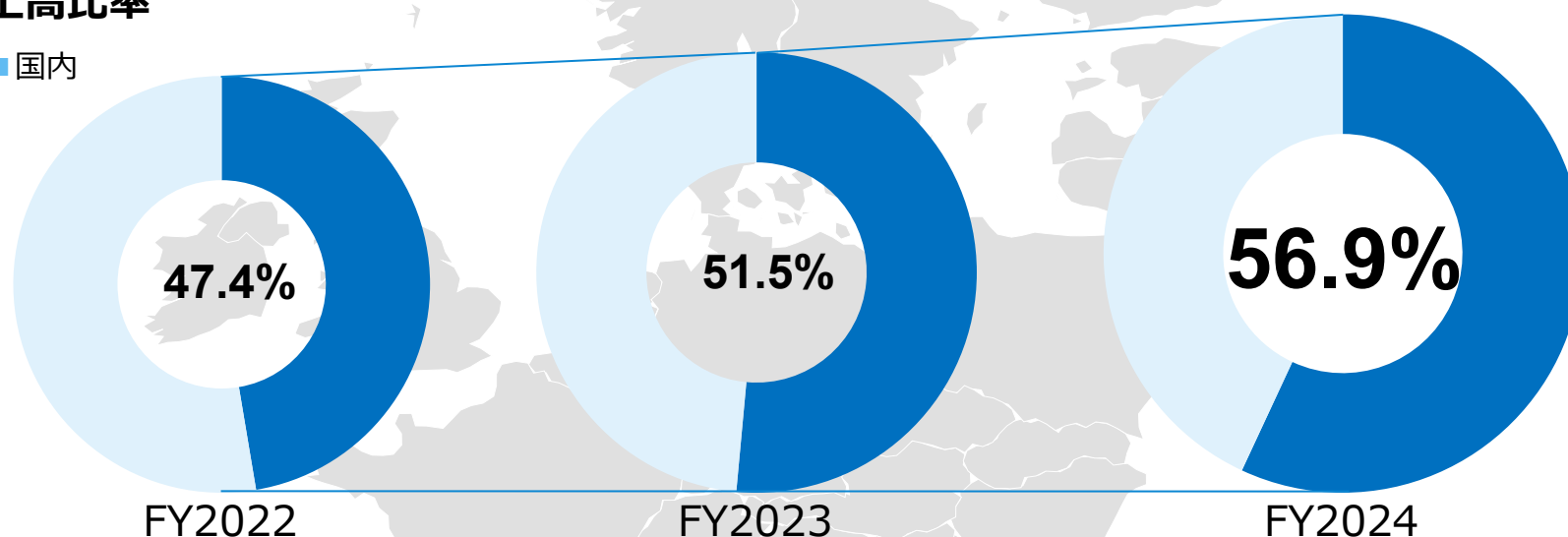
対前年増減要因

		前年対比 (百万円)	増減要因
ヘパリーゼ群	医薬品	590	(+)疲れ・ダルさ対策としての訴求が奏功
	清涼飲料水 栄養補助食品	993	(+)広告宣伝および販売促進策が奏功 (+)新製品「ヘパリーゼWシャイン」の発売
コンドロイチン群		-179	(-)競合品との競争激化
ウィズワン群		238	(+)広告宣伝および販売促進策が奏功
その他		537	(+)イオナ化粧品、プレバリン群、マスデント群などが伸長

アサコール、ディフィクリアが好調に推移し、 海外売上高・海外売上高比率ともに更に伸長

海外売上高比率

■ 海外 ■ 国内



海外売上高

(百万円)

		FY2022	FY2023	FY2024	
		実績	実績	実績	対前年伸率
海	外	32,382	38,972	49,706	27.5%
国	内	36,000	36,752	37,604	2.3%

Ⅱ. 2026年3月期（2025年度）業績予想 他

- Ⅱ-1 第11次中期経営計画(2023-2025)**
- Ⅱ-2 2026年3月期連結業績予想**
- Ⅱ-3 医療用医薬品事業**
- Ⅱ-4 コンシューマーヘルスケア事業**
- Ⅱ-5 開発パイプラインの状況**
- Ⅱ-6 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応**
- Ⅱ-7 配当および株主還元の考え方**

経営目標

- 連結売上高 900億円
- 海外売上高比率 50%以上

第11次中期経営計画 主要方針

好調な海外事業を中心にさらなる成長を目指す

- ① 欧州地域における継続的な市場育成
 - ・ アサコール・ディフィクリア
- ② アジア地域の市場拡大
 - ・ ゼリア新薬
アジア諸国への製品輸出拡大
 - ・ ベトナムF.T.ファーマ
新工場建設、既存事業拡大、東南アジア近隣諸国への輸出

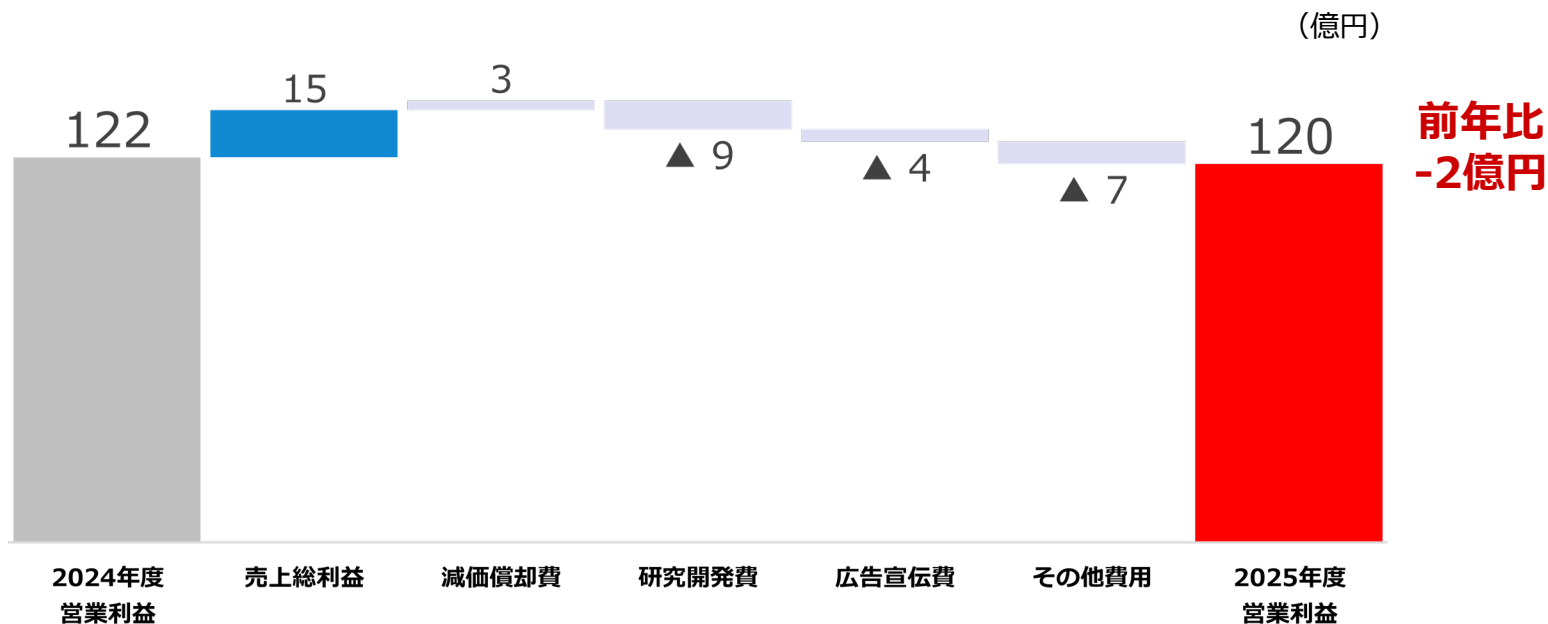
Ⅱ-2 2026年3月期連結業績予想

(百万円)

	2025年3月期	2026年3月期	
	実績	予想	対前年伸率
売上高	87,311	90,000	3.1%
営業利益	12,197	12,000	-1.6%
経常利益	12,840	12,000	-6.5%
親会社株主に帰属 する当期純利益	9,936	9,500	-4.4%
一株当り配当	47円 (予定)	48円 (予想)	

研究開発費	4,106	5,000	21.8%
広告宣伝費	2,568	3,000	16.8%
海外売上高	49,706	51,350	3.3%
海外売上高比率	56.9%	57.1%	

Ⅱ-2 2026年3月期連結業績予想：営業利益変動要因



- | | |
|---------|---------------------------------|
| ■ 減価償却費 | 償却内容の変動により若干減 |
| ■ 研究開発費 | 当社および海外子会社での費用増 |
| ■ 広告宣伝費 | コンシューマーヘルスケア事業での積極的な広告展開 |
| ■ その他費用 | 海外子会社の基幹システムへの投資
人件費・販促費等の増加 |

海外医療用医薬品

- ◆ディフィクリア 市場規模の大きなドイツ、イギリスなどにおける更なる伸長
- ◆アサコール 高用量製剤である1600mg錠の伸長
- ◆エントコート 後発品の浸透による売上減

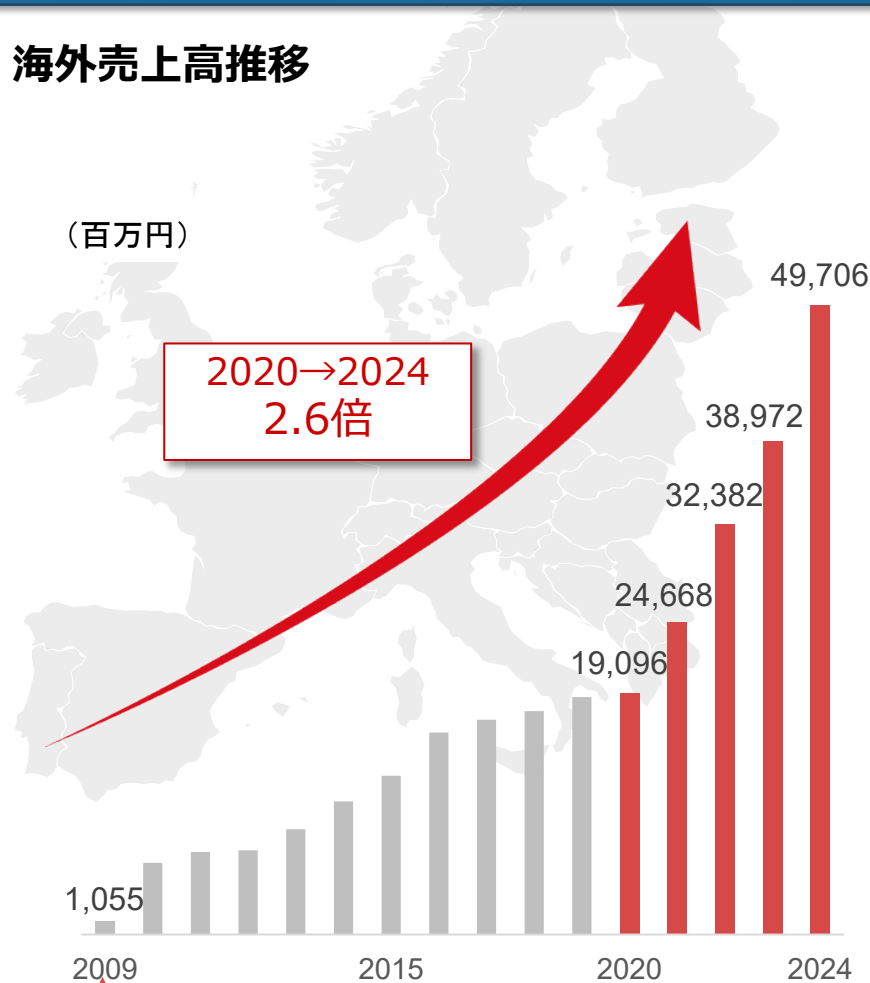
国内医療用医薬品

- ◆ビルタサ ターゲット領域である循環器科・腎臓内科領域での早期市場浸透
- ◆フェインジェクト 産婦人科・消化器科領域での更なる市場浸透に加え、ビルタサのターゲット領域への新たな展開
- ◆アコファイド ビルタサのターゲット領域への新たな展開
- ◆ダフクリア 改訂ガイドラインの周知徹底
- ◆長期収載品（アサコール等）
薬価改定および選定療養制度の影響あり



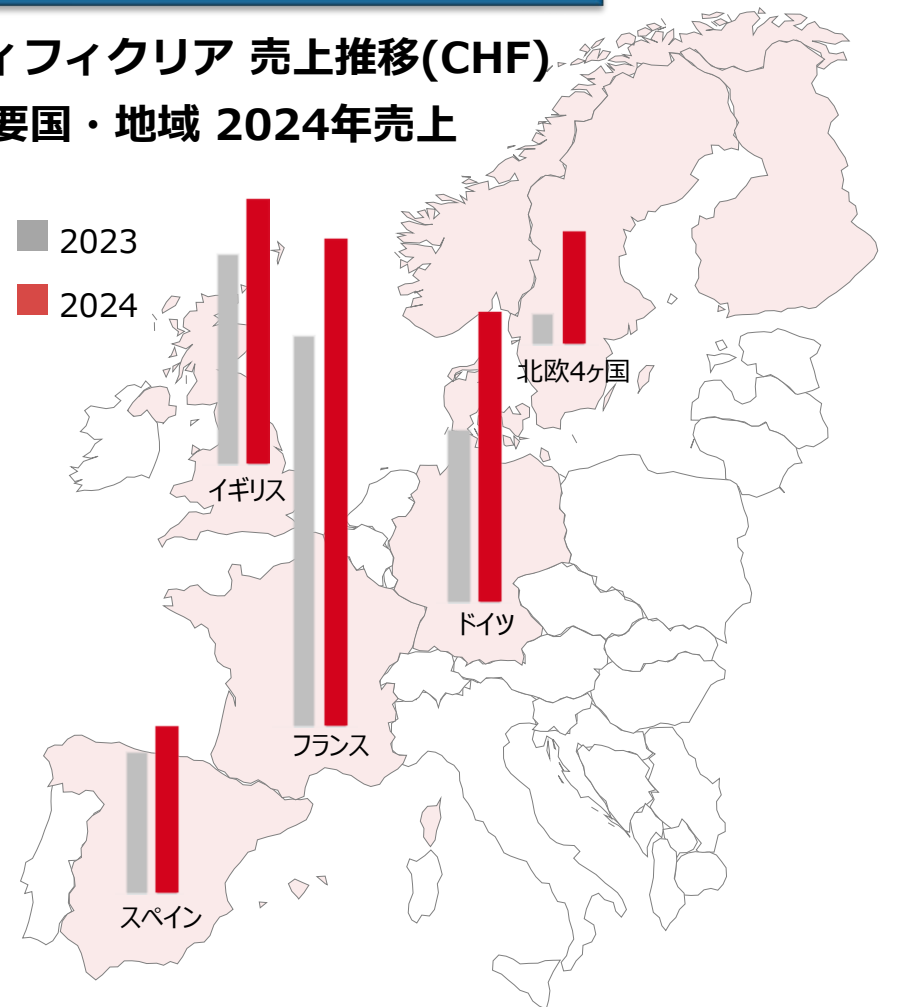
ディフィクリア 2025年度 前年比 1 割程度の伸びを見込む

海外売上高推移



ディフィクリア 売上推移(CHF)

主要国・地域 2024年売上



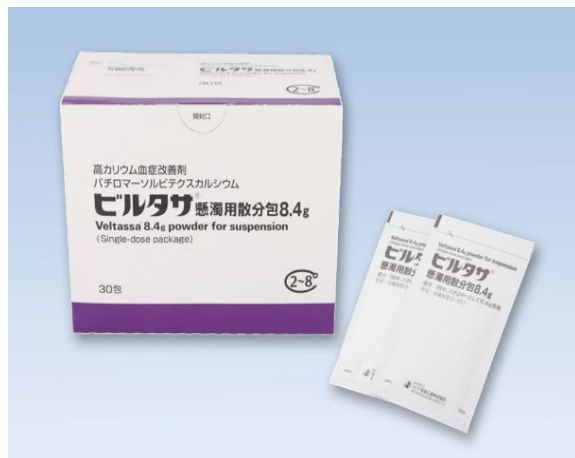
北欧4ヶ国
ノルウェー、スウェーデン、デンマーク、フィンランド

Tillotts Pharma
100%子会社化

Entocort®
budesonide

DIFICLIR™
fidaxomicin

高カリウム血症治療薬「ビルタサ」の市場浸透



「ビルタサ懸濁用散分包8.4g」
(一般名：パチロマーソルビテクスカルシウム)

【製品特長】

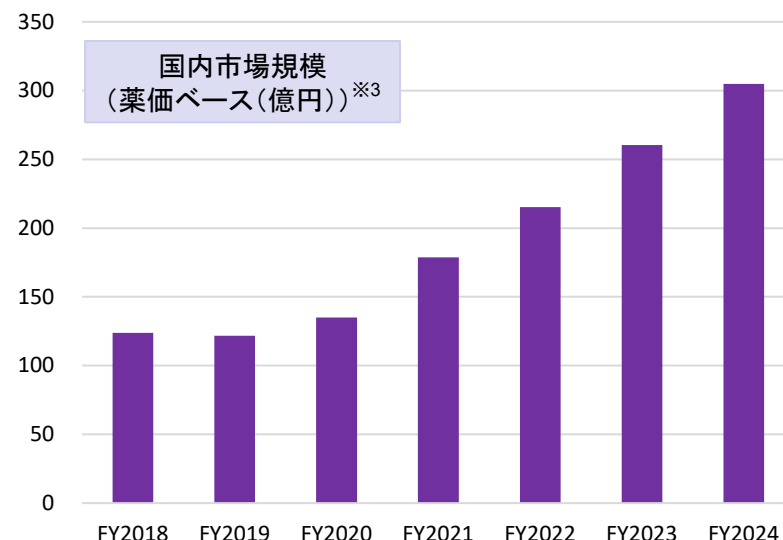
- 主成分にナトリウム非含有 (Naフリー)
- 1日1回経口投与

【国内市場規模】

- 薬価ベース：約300億円※1
- 推計患者数：約36万人（2018年比9.1%増）※2

【製品情報】

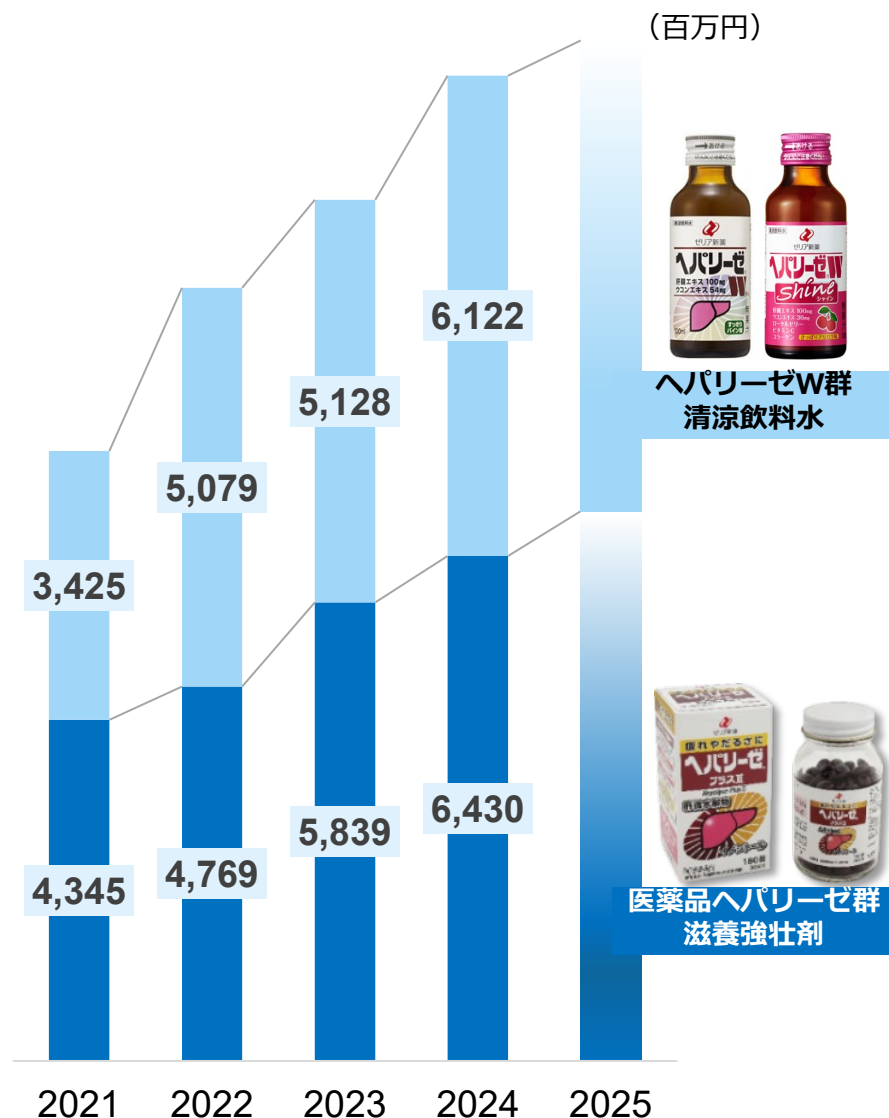
- ◆ 非吸収性の陽イオン吸着ポリマーで、主に結腸管腔でカリウムを吸着し、糞便中へのカリウム排泄を増加させることで、高カリウム血症患者の血清カリウム値を低下させる薬剤
- ◆ 米国、カナダ、ヨーロッパ諸国など日本を含む世界 42 カ国で承認（2025年2月時点）



出典：※1.3 IQVIA JPM（2018年4月～2025年3月）を元に作成Copyright © 2025 IQVIA. 無断転載禁止、※2 日本医療データセンター(JMDC)社保レセプトデータベースのデータを元に作成

主力品の更なる拡大と、多様な製品群の更なる市場浸透





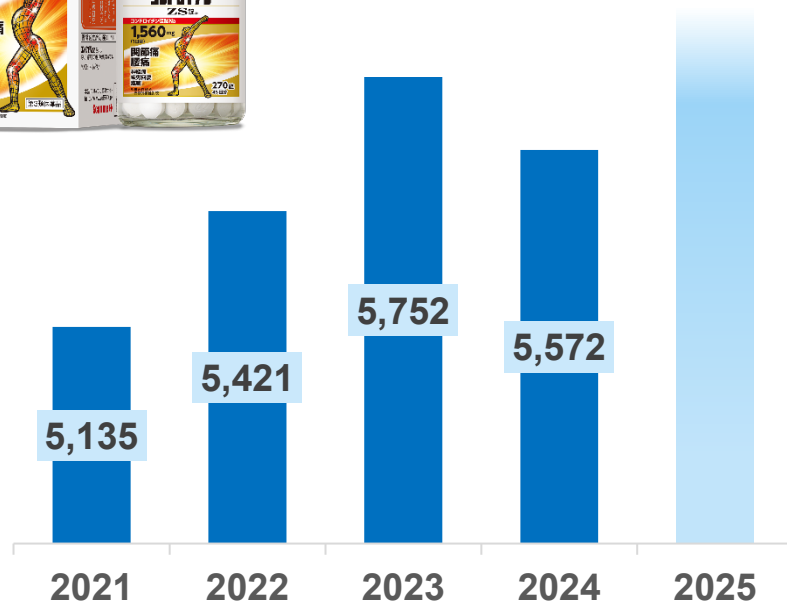
- 医薬品ヘパリーゼ群
疲れ・ダルさ対策としての訴求を継続
- コンビニ向けヘパリーゼW群
積極的な広告宣伝・販促活動を計画
- 昨年度に続き、新製品投入を計画

ヘパリーゼ群
2025年度 前年比 1 割程度の
伸びを見込む

コンドロイチン群



(百万円)

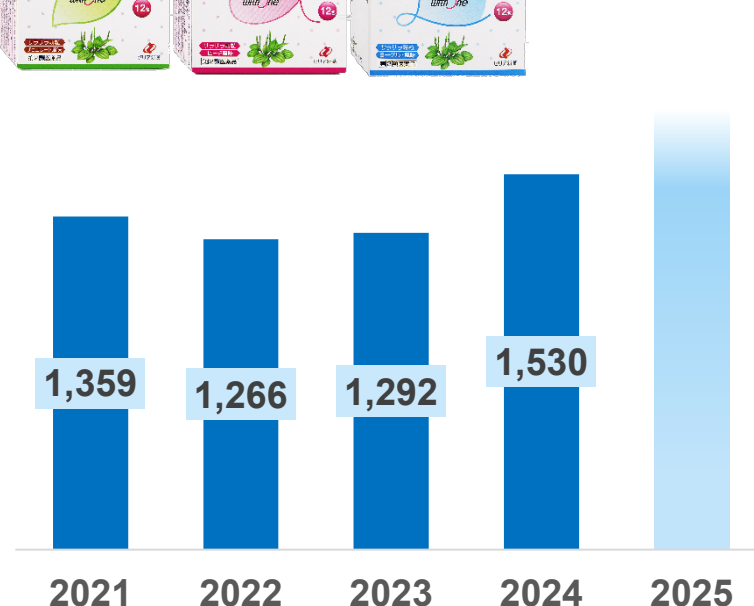


- OTC医薬品で唯一コンドロイチン硫酸エステルNaを1,560mg配合（1日量）したコンドロイチンZS錠の価値訴求
- 効果を実感していただくために継続服用を推奨

ウィズワン群



(百万円)



- 男性や高齢者に対してもアピール
- 植物性でお腹が痛くなりにくいという製品特長を訴求



食物繊維がふくらんで生薬で押し出す



その原因の1つは**悪土国**の増殖!



歯を守るには口内の善玉菌も必要だった



Ⅱ-4 コンシューマーヘルスケア事業 多様な広告展開の最適化



テレビCM、SNS、動画配信サービス、バナー、主要駅構内、街頭、新聞雑誌など、製品別に広告展開を最適化



フェムケア市場への高い関心を背景にプレゼンス向上



月経前症候群治療薬「プレフェミン」

フェムケア関連イベントなどへ積極的にブースを出展、PMSに悩む生活者の方との接点を増やし、当社製品を身近に感じていただく。

2025年度も全国のフェムケア 関連イベントへ参加を計画



Ⅱ-5 開発パイプラインの状況

国内開発

開発番号／名称	開発会社・機関	適応症	Phase1	Phase2	Phase3	申請	承認	発売
ZG-801	ゼリア	高カリウム血症	2025年3月17日「ビルタサ」発売					
Z-338 (アコチアミド)	ゼリア	小児 機能性ディスペプシア						
ZG-802 (アコチアミド)	ゼリア	低活動膀胱						

海外開発

開発番号／名称	開発会社・機関	適応症	Phase1	Phase2	Phase3	申請	承認	発売
Z-338 (アコチアミド)	Agastra-Lab s.r.l.	機能性ディスペプシア	欧州、米国、カナダ					
	Meiji Seika ファルマ	機能性ディスペプシア	タイ					
	Faes Farma	機能性ディスペプシア	コロンビア、コスタリカ、パナマ、ニカラグア					
			メキシコ、エクアドル、ドミニカ共和国、ホンジュラス、エルサルバドル、チリ、グアテマラ、ペルー、					
	F.T. Pharma	機能性ディスペプシア	ベトナム					
	United Italian Trading Corporation Pte. Ltd.	機能性ディスペプシア	シンガポール					

世界初のFD治療薬※「アコファイド」の海外導出拡大

- ◆機能性消化器疾患の国際的診断基準であるローマⅢ基準で診断された機能性ディスペプシア患者を対象に有効性を証明した世界初の機能性ディスペプシア治療剤として、アコファイド錠（一般名：アコチアミド塩酸塩水和物）を2013年6月に世界に先駆けて日本で発売。
- ◆2025年5月現在、日本を含む世界10カ国で販売承認を取得し販売中。6カ国で販売承認申請中。



新しい治療薬としての価値拡大

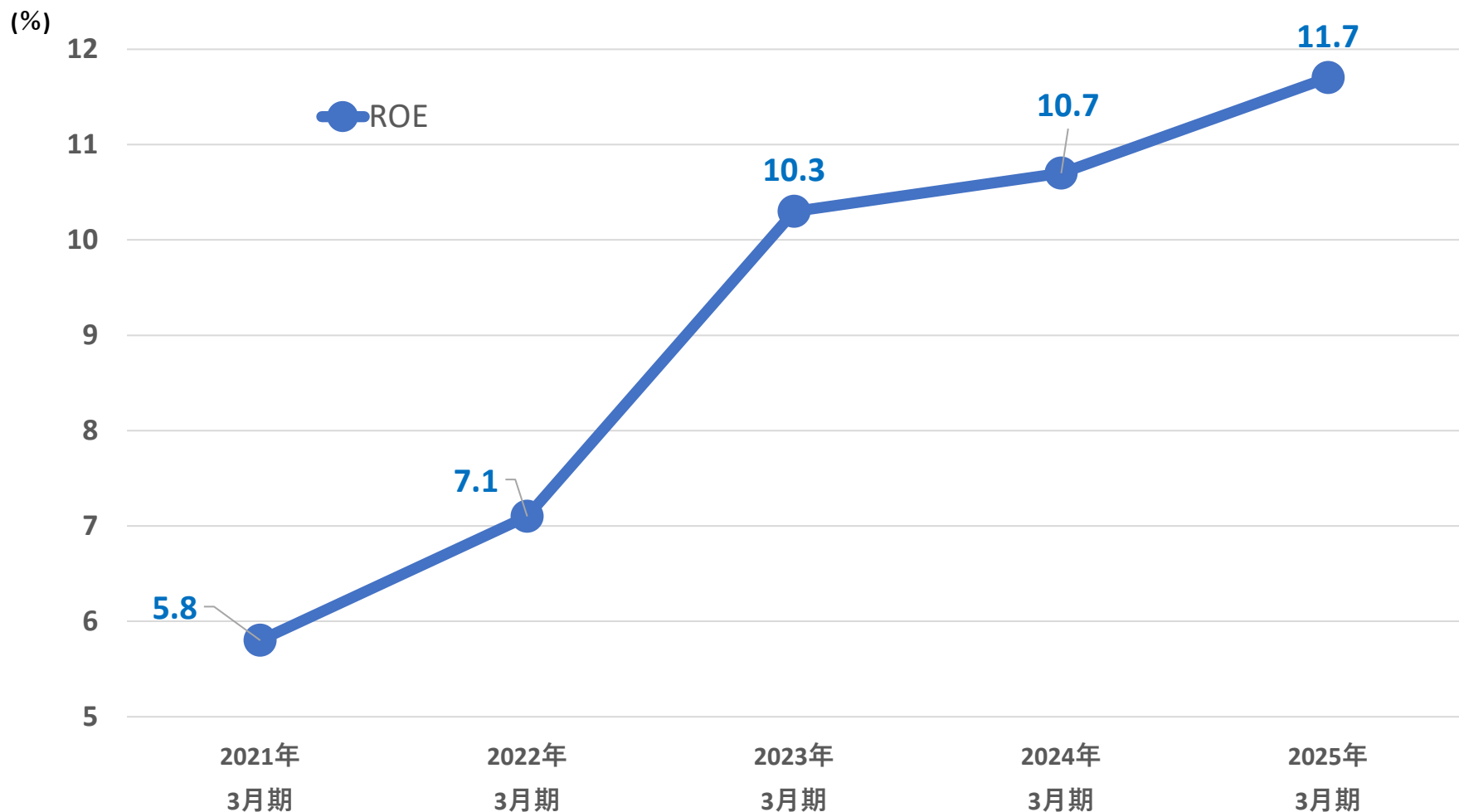
- ◆低活動膀胱の適応獲得に向けて第Ⅱ相試験進行中。
- ◆低活動膀胱はQOL（生活の質）に多大な影響を及ぼす疾患であり、有効な薬物治療は世界的に未確立な状況。

※ FD（機能性ディスペプシア）

ローマⅢ基準によれば、食後の膨満感、早期満腹感（飽満感）、心窩部痛、心窩部灼熱感などの消化器症状を訴えるが、原因となる器質的疾患が見当たらない疾患とされる。

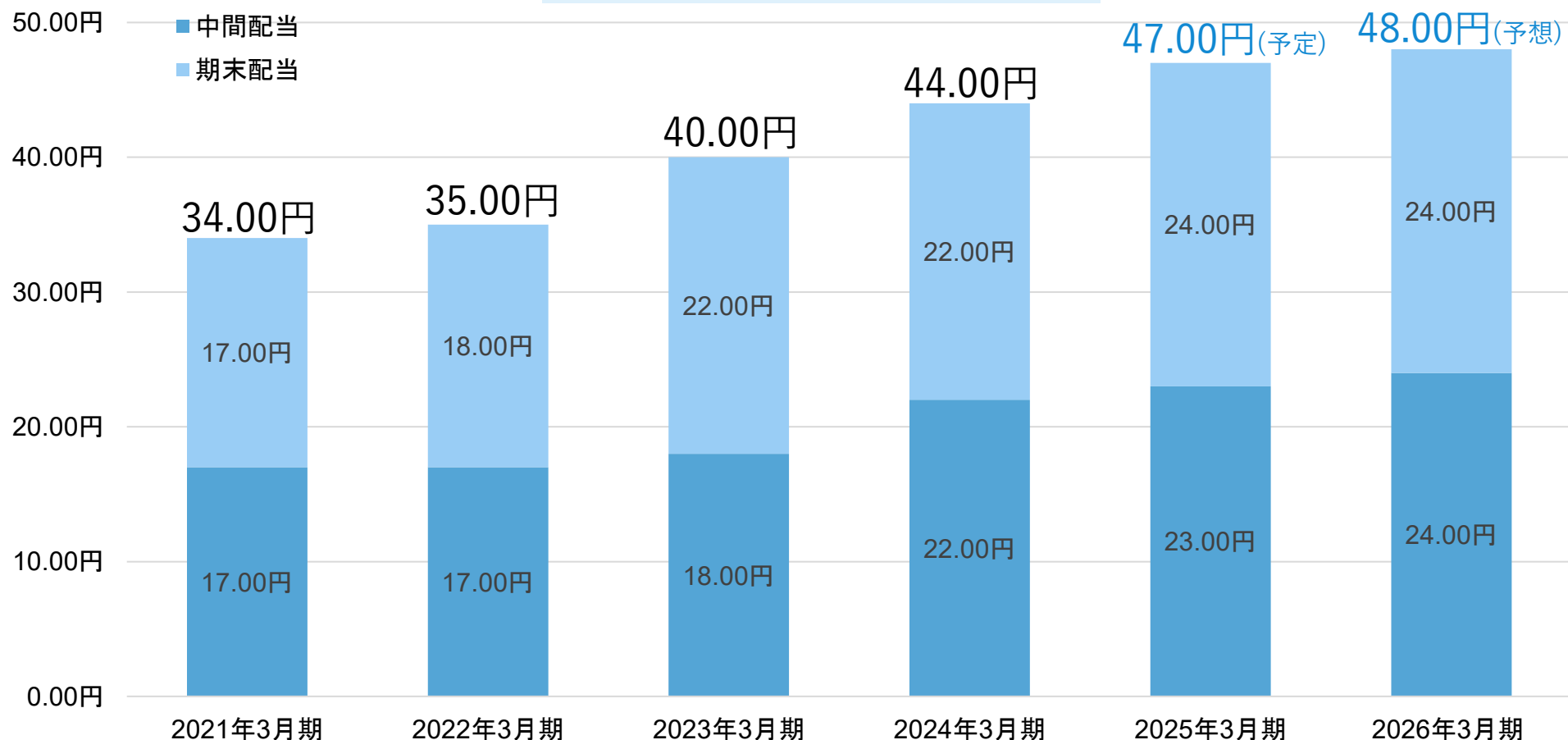
収益性の改善によりROE10%以上を維持

欧州地域を中心とした海外事業への投資による収益性改善が継続



安定配当の維持を基本とし、業績を勘案して配当

5期連続 増配



本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、計画数値と異なる可能性があることにご留意ください。又、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。

お問い合わせ先：広報部 田村まで

Tel. 03-3661-1039

Fax. 03-3663-4203